

西バルカン 6 か国の観光専門家が京都・宇治で 持続可能な観光開発を学ぶ

JICA 関西は、和歌山大学の協力のもと、西バルカン諸国6か国(セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア、北マケドニア、モンテネグロ、コソボ)から観光推進を担う行政官ら12名を招き、約2週間にわたり持続可能な観光開発をテーマとした研修を実施します。

西バルカン地域は多様な民族・文化が共生する豊かな自然と観光資源に恵まれています。紛争からの復興を経て、観光産業は地域の経済発展に向けて重視され、昨今インバウンド観光客も増加しています。本研修は、日本における持続可能な観光振興の取り組みや政策の共有、また、そこにかかる人材育成を目的に実施します。

研修の一環として、2月2日(月)、研修員は京都府宇治市を訪問し、世界遺産や茶畠等の貴重な観光資源の維持・活用について現場を視察するとともに、複数の自治体が連携して観光振興に取り組む「広域連携」について講義を受けます。ぜひ、取材をご検討ください。

【研修概要】

研修期間 : 2026年1月21日(水)～2月5日(木)

研修参加者 : 6 か国 12 名 (セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア、北マケドニア、モンテネグロ、コソボ 各 2 名参加) ※日英通訳者が同行します。

研修実施団体 : 国立大学法人 和歌山大学

【取材可能日】2月2日

日時	訪問先	会場
2月2日(月) 9:40-11:50	【講義】宇治市観光協会、お茶の京都 DMO の取り組み	お茶と宇治のまち歴史公園会議室 B (宇治市菟道丸山 203-1)
13:05-13:45	【視察】平等院鳳凰堂	平等院鳳凰堂
14:00-14:40	抹茶席体験	市営茶室対鳳庵

取材をご希望の場合は、1月29日(木)までにご連絡ください。

【問い合わせ先】

JICA 関西 研修業務課
TEL 078-261-0383